

令和4年4月21日

本市への移住者が過去最多！若者や子育て世帯が増えています ～ジブン色のくらし「ふくしまスタイル」を実感できる取り組みをスタート！～

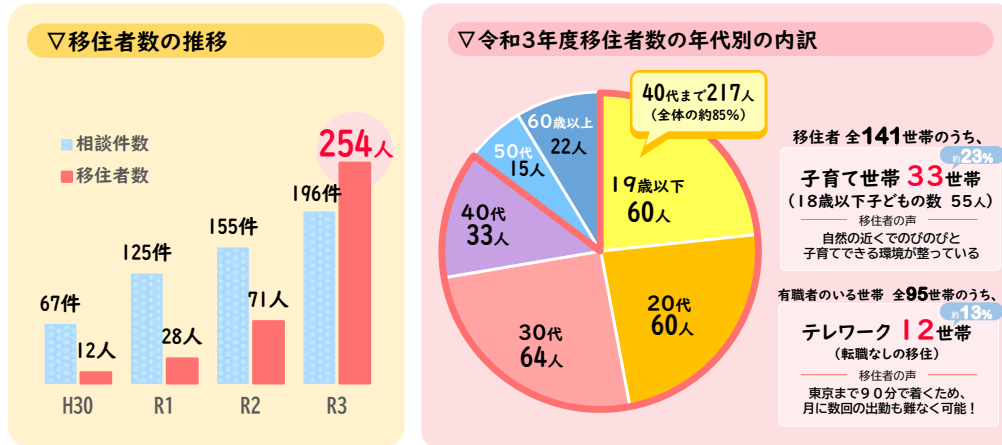
令和3年度における本市への移住者数は、254人となりました。令和元年度に発表した「ふくしまで暮らそう！ジブン色の新生活応援宣言」以降で最多となり、令和2年度の71人と比較して3.6倍近い増加となりました。特に40代までの方が全体の約8割以上を占め、若者や子育て世帯が増加しています。

令和4年度は、今までの移住・定住促進事業に加え、ジブン色のくらし「ふくしまスタイル」をより実感できる取り組みを進めていきます。

記

1. 移住者数の推移

(1) 令和3年度移住者数 254人 (前年比約3.6倍)



2. 移住・定住促進の取り組み

(1) 主な移住支援制度

- ・引っ越し費用の補助 (対象経費の1/2、最大10万円)
- ・東京圏に在住・通勤の方へ「单身60万円」、「世帯100万円+子育て加算」の支援金 (18歳未満の子1人につき30万円を加算)
- ・多世帯での同居または近居のための住宅取得費用等の補助
- ・新婚世帯への住居費の補助
- ・4か所の公衆浴場を利用できる「湯めぐりパスポート」の交付



(2) 相談対応

- ・移住ワンストップ相談窓口 ・オンライン移住相談の実施
- ・移住検討者と本市を繋ぐ「移住応援サポーター」による相談

3. ジブン色の暮らし「ふくしまスタイル」を感じられる新たな取り組み

(1) プレ移住サポート事業

本市への移住検討者が2泊3日以上、民泊施設を利用した場合の利用料の補助
(対象経費の1/2、1泊1人当たり3千円上限で最長13泊14日)

(2) 街めぐリアテンド隊

移住検討者が本市へ現地確認などで訪れた際に、職員が「街めぐリアテンド隊」
として市内をオーダーメイドでご案内

(3) 湯めぐりパスポートの交付(令和2年度～)

移住関連イベントへの参加、移住に向けた継続的な相談などを経て移住した方へ、
市内4カ所の公衆浴場に最長3年間入り放題の湯めぐりパスポートを交付

ジブン色の暮らし

ふくしまスタイルを実感できる取り組み

ふくがましまし

プレ移住サポート事業

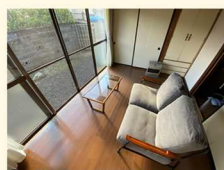
民泊施設でお試し移住して、
リアルなふくしまの暮らしをどっぶり体験!

民泊施設利用料

1泊1人当たり3,000円上限

1人当たり
最大 **39,000円**

2週間(13泊14日)利用の場合



民泊施設：昭和の家 ume

滞在中にできることの一例

- ・スーパーなどで食料品を買い調理
- ・学校や保育所など教育・子育て施設の見学
- ・まち歩きプログラム等への参加
- ・飲食店や温泉施設などでテレワーク
- ・農家さんのご協力のもと就農体験 など

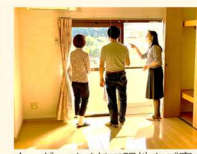
ふくがましまし

街めぐリアテンド隊

定住交流課職員が移住検討者一人ひとり、
オーダーメイドで市内をご案内。



アテンド隊を務める職員



オーダーメイドで現地をご案内

ふくがましまし

湯めぐりパスポート

市内4カ所の公衆浴場が
最長3年間入り放題に。
日常に温泉がある暮らしを!



公衆浴場の窓口で
パスポートを提示

01

福島市移住応援サイト

福島市の暮らし、移住支援制度、
移住者インタビューなどをご紹介

福島市 移住

検索



02

移住ワンストップ相談窓口

(福島市定住交流課内)

TEL 024-572-5451

移住を希望される方、検討中の方などまずは
こちらにご連絡を。Zoomでのオンライン
相談も承ります。

03

公式Instagram

@fukushima days official

市民フォトグラファーが撮影した
ふくしまの日常をほぼ毎日投稿中



担当：定住交流課 出会い定住応援係
課長 長島、主任主査 赤間
電話 024-525-3739 (直通)